

7 安全な教育環境の整備

【基本的な考え方】

- 安全で安心な教育施設の整備を早期に実現するため、平成23年度に引き続き、県立学校の大規模補強が必要な校舎棟を中心に耐震化、老朽化対策を実施するとともに、入学を希望する児童・生徒の急増している特別支援学校の計画的な整備を推進する。
- 安全で安心できる学校給食を提供していくため、放射線測定機器を整備し、平成24年度から測定を行う。

(1) 「県立教育施設再整備10か年計画」(まなびや計画)(注1)の主な事業

単位：千円

重点項目	主な事業概要	実施施設	予算額
耐震化・老朽化対策			4,778,270
耐震化緊急対策	○安全で安心な教育施設の整備を早期に実現するため、平成23年度に引き続き、大規模補強が必要な校舎棟を中心に耐震補強工事、設計調査及び仮設校舎の設置等の対策を実施する。	・設計調査等 上溝高校など 4校 ・耐震補強工事等 瀬谷高校など 15校 ・仮設校舎等対応 港北高校など 23校	3,860,270
老朽化対策	○耐震化等と併せて、効率的に老朽化対策工事を実施する。	・老朽化対策工事 旭高校など 9校	918,000
県立高校改革			611,401
機能改修工事等	○県立高校改革推進計画に基づき、新たな教育展開に必要な施設整備を行うとともに、校舎の安全性の確保及び長寿命化を図るため、耐震補強及び老朽化対策工事を実施する。	・設計調査等 商工高校など 2校 ・機能改修工事等 吉田島総合高校など 3校 ・仮設校舎等対応 商工高校など 4校	611,401
老朽化対策事業 (再掲)耐震化・老朽化を含む		・老朽化対策工事 吉田島総合高校	(注2) < 56,000 >
特別支援学校の整備			1,140,200
新校の整備	○入学を希望する児童・生徒が急増している特別支援学校の整備を行う。	・横浜西部・藤沢方面特別支援学校(工事) ・県央方面特別支援学校(基本・実施設計)	905,200
特別支援学校施設整備		・平塚養護学校プール棟整備(工事)	235,000
その他整備工事	○教育施設に必要な各種整備を行う。	・県立高校津波避難施設整備事業 海洋科学高校など 2校 ・教育環境整備事業等 追浜高校など 2校	68,800
合 計			6,598,671

注1 まなびや計画は平成19年度から平成28年度までの10か年の教育施設再整備計画である。

注2 < > は、高校改革対象校に係る耐震化・老朽化対策の再掲分。

※ 各施設において施設全体を整備するものではない。

(2) 学校給食の安全・安心のための放射線測定機器の導入

単位：千円

事業名等	事業の内容等	予算額
学校給食環境設備運営費	○学校給食の安全・安心を確保するため、放射線測定機器を整備し(平成23年度2月補正予算で対応)、平成24年度から学校給食用食材の放射線測定を行う。 ※測定機器整備費(13,750千円)は平成23年度2月補正予算に計上。	14,940

(問い合わせ先) (1)については、教育局企画調整部まなびや計画推進課 伊藤 電話 045-210-8062

(2)については、教育局教育指導部保健体育課 小野 電話 045-210-8300